

利用例 - 生活保護受給者の場合 -



小規模多機能ぼやあ樹では、毎月、地域の病院や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など、さまざまな機関の皆様よりご相談をお受けしております。そこで、実際にぼやあ樹へご利用となられたケースの中から、生活保護を受給されてるご利用者の利用例を紹介させていただきます。



Aさん(女性): キーワード【**独居・食事・服薬管理**】

元々は、生活保護を受給しながら自立した一人暮らしをしていたが、転倒による入院をきっかけに食事や服薬確認に支援が必要となった。今後は、食事・服薬確認の支援を中心に生活全般の支援が必要なことや、自費分の利用料に対して柔軟な対応ができるため、ぼやあ樹へ相談となる。

【具体的な利用例】

月	火	水	木	金	土	日
デイ	デイ	デイ	デイ	デイ	訪問	訪問
帰りの送迎時に夕食と翌日の朝食をスーパーやコンビニで購入して帰宅。					1日2回 配食(昼・夕) 服薬確認	1日2回 配食(昼・夕) 服薬確認

この場合の
費用は…

【月額費用の概算】

食費	金額
昼食代	500 × 30
おやつ代	100 × 22
夕食代	500 × 8
合計	約 21,200 円

↑ 本人負担額

* 週5日デイサービス : 帰宅時に当日の夕食と翌日の朝食(パン等)を購入して帰宅。

夕食は費用負担を少しでも軽減したいという本人の要望により、食事バランスをスタッフと確認しながら購入する。

* 週2日訪問 : 1日2回(昼・夕)訪問して、食事と当日の服薬を渡す(薬はぼやあ樹で管理)



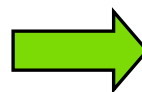
Bさん(男性): キーワード【**認知症・食事・服薬管理、家族の介護負担軽減**】

生活保護を受給しながら一人暮らしをしていたが、最近になって認知症が進み、自分で食事の準備ができなかったり、薬の飲み間違えなどが増えたきた。それにより、近所に住んでいる家族(娘)が毎日仕事帰りに本人宅によって食事の準備や薬の確認をするも、介護疲れが出てきたため、週に1泊でも定期的な泊りや毎日の支援をサポートしてほしいとのことでぼやあ樹へ相談となる。

【具体的な利用例】

月	火	水	木	金	土	日
デイ	デイ	デイ	デイ	デイ	泊まり	デイ
デイサービス利用時は、ぼやあ樹で夕食を召し上がって、夕薬を服用してから帰宅される。						

この場合の
費用は…



【月額費用の概算】

食費	金額
朝食代	400 × 4
昼食代	500 × 30
おやつ代	持ち込み
夕食代	500 × 30
宿泊代	1,000 × 4
合計	約 35,600 円

↑ 本人負担額

* 週5日デイサービス : 夕食を召し上がって夕薬を服用してから帰宅

おやつは費用負担を少しでも軽減したいという本人・家族の要望により、自前で持ち込みをされる。

* 週1日泊まり : 家族の介護疲れ軽減のために泊まりを利用。